

平成 30（2018）年度

# 事業報告書

自 平成 30 年 4 月 1 日

至 平成 31 年 3 月 31 日

公益財団法人北九州国際交流協会

2018年度 事業報告書

本協会は、「多文化を受け入れ世界に開かれた魅力ある地域づくりと人づくり」という長期ビジョンの下、「1 外国人市民の社会適応支援と社会参画の促進」、「2 協働による多文化共生のまちづくり」、「3 多文化共生の担い手育成（グローバル人材育成）」の 3 つの分野における事業を実施した。

## 1 外国人市民の社会適応支援と社会参画の促進

### (1) 外国人市民の社会参画を促すエンパワメント支援

日本語を十分に理解できない外国人市民に対して、情報提供、外国語での相談、通訳派遣、日本語教育等の支援を行い、外国人市民が暮らしやすい環境を整備するとともに、就業や地域での社会参画に繋げるためのエンパワメント支援を行った。

#### ア 多言語による生活情報の提供

##### (ア) 外国人市民への情報提供

タイムリーな情報発信として、日本語、英語、中国語、韓国語、ベトナム語、やさしい日本語でのメールマガジンを配信した。

メールマガジン登録者数：日本語 4 8 7 人、英語 1 0 3 人、中国語 6 4 人  
韓国語 2 3 人、ベトナム語 2 人、やさしい日本語 5 4 人 合計：7 3 3 人

##### (イ) ホームページ等による広報

多言語（日本語、英語、中国語、韓国語、やさしい日本語）のホームページやフェイスブックを活用して、最新のイベント情報や生活情報、災害関連情報、協会事業や県内の国際交流等外国人市民への情報提供を行った。

ホームページアクセス数：日本語 2 3, 2 1 8 件、英語 3, 2 5 5 件、  
中国語 1, 3 0 5 件、韓国語 1, 2 9 5 件、ベトナム語 1, 1 9 0 件、  
やさしい日本語 1, 4 2 9 件

合計 3 1, 6 9 2 件

#### イ 外国人相談

##### (ア) 外国人インフォメーションセンターにおける一般相談

増加、複雑化する相談に対応するため、外国語相談員を 6 名に増員して相談体制を強化し、八幡西区及び小倉北区の 2 か所において、日本語・英語・中国語・韓国語・ベトナム語での相談業務や情報提供を実施した。

相談内容によって、専門家相談へ繋ぐことで課題解決への一助となった。

相談人数：904人      相談件数：1,193件

(イ) 専門家相談

① 入国・在留・国籍手続き相談

福岡県行政書士会と共催で月に1回開催した。

相談件数：60件

② 法律相談

福岡県弁護士会北九州部会の協力のもと月に1回開催した。

相談件数：15件

③ 心理カウンセリング

臨床心理士による相談会を随時開催した。

相談件数：0件

(ウ) 北九州外国人支援関係機関連絡会議の開催

外国人支援に関わる関係者の情報交換会を開催し、各立場での状況や内容について意見交換を行うことで関係機関の緊密な関係を築き、外国人の抱える課題や傾向について情報共有を行った。

開催日：10月31日（水）、2月13日（水）

会場：AIM会議室

構成員：福岡県弁護士会、福岡県行政書士会、市教育委員会、市戸籍  
住民課、市子育て支援課、各区保健福祉課、各区保健師、  
各区子ども家庭相談コーナー職員、市男女共同参画センター、  
外国語相談員 等

出席者：10/31：28人      2/13：24人

(エ) 行政書士による入国管理法改正に関する研修会

2019年度から大幅に制度が変更されることが検討されており、本市でも新たに設けられる在留資格を持つ在住外国人市民が増加することが予想されることを踏まえ、専門家を講師に招き、協会の外国語相談員をはじめ、外国人市民支援団体や北九州市の関係部署に広く声をかけ制度の概要や問題点などに関する研修を実施した。

開催日：10月31日（水）      会場：AIM会議室

講師：福岡県行政書士会北九州支部 国際渉外部長 長尾 恵美子氏

参加者：協会外国人支援担当職員、協会外国語相談員、市国際政策課、

## ウ コミュニケーション支援事業

コミュニケーションに困難を感じている外国人市民に対して、地域社会において孤立することなく、日本人と共生できるように電話通訳や行政通訳派遣等の支援を行った。

### (ア) 相談員による電話通訳の実施

市役所・区役所・学校等の関係機関と日本語でのコミュニケーションが難しい外国人市民との間の電話通訳サービスを実施した。

対応言語：英語・中国語・韓国語・ベトナム語 ※ベトナム語は火・水曜のみ

対応日時：火曜～金曜 10:00～16:00 件数：67件

### (イ) 行政通訳派遣

北九州市の委託を受けて、日本語によるコミュニケーションが困難な外国人市民のために、区役所や学校等に行政通訳者や多言語ママパパサポーターを無料で個別派遣した。

派遣件数合計：92件 派遣者数合計：98人

#### ① 行政通訳派遣 《北九州市からの受託事業》

北九州市の組織や学校等または外国人市民からの依頼により、行政通訳者を派遣した。

派遣件数：80件 派遣者数：84人

言語：中国語 47人、英語 15人、ベトナム語 8人、  
インドネシア語 4人、韓国語 3人、タガログ語 3人、  
モンゴル語 3人、アラビア語 1人

内容：子育て支援①子供関係・・・62件(62人)

(学校・保育所・児童相談所・福祉施設《障害者支援含む》)

子育て支援②母関係・・・11件(11人)

(保健師等の妊産婦訪問指導、離乳食・マタニティ室等)

区役所・市役所・・・5件(9人)

介護保険、老人保健福祉・・・2件(2人)

#### ② 多言語ママパパサポーター派遣 《北九州市からの受託事業》

医療機関や行政機関、子育て支援機関、外国人住宅等に「多言語ママパパサポーター」として通訳者を派遣した。

派遣件数：10件 派遣者数：10人

言語：英語 5 人、ベトナム語 4 人、中国語 1 人

内容：病院（市公費助成妊婦・乳幼児等無料検診等）・・・8 件(8 人)子  
育て支援機関（日本語教室、児童福祉施設等）・・・2 件(2 人)

③ 受託外派遣

市からの受託以外に、協会事業等に行政通訳者を派遣した。

派遣件数：2 件 派遣者数：4 人

言語：ベトナム語 2 人、中国語 1 人、英語 1 人、

内容：地域防災訓練事業

(ウ) 医療通訳派遣

日本語でのコミュニケーションが難しい外国人市民が安心して医療機関を受診できるように、医療通訳者を医療機関等へ派遣した。個人病院やクリニックでも利用が可能な登録制度により登録病院も増加しており、外国人市民にもかかりつけ医に行く初診の段階からの対応が一層充実した。また、制度周知を図るため無料キャンペーンを実施した。

派遣件数：37 件 派遣人数：37 人

言語：中国語 17 人、英語 7 人、ベトナム語 5 人、韓国語 4 人、  
モンゴル語 4 人

診療科：整形外科 11 件、内科 9 件、産婦人科 7 件、胃腸科 2 件、  
小児科 2 件、眼科 1 件、消化器内科 1 件、神経内科 1 件、  
歯科・口腔外科 1 件、耳鼻咽喉科 1 件、  
呼吸器内科 1 件、

(参考) 協定病院等：4 登録病院：27

※ 上記のうち 8 件（8 名）は、市公費助成妊婦・乳幼児等無料検診・予防接種等のため、「多言語ママパパサポーター」として派遣。

エ 日本語教室の運営

(ア) 外国人子ども支援

外国につながるのある児童生徒を対象に、学習支援の場として「放課後にほんごひろば」及び「夏休みにほんごひろば」を実施した。

① 子どもと親のほんごひろば

主に外国につながるのある児童生徒及び親を対象に、日本語学習、教科  
学  
習や宿題のサポートを行う教室を小倉北区で実施した。

【小倉】開催場所：小倉中央市民センター  
開催期間：5月8日～3月12日 毎週火曜日 16:00～17:30  
開催回数：35回 ※ 台風による中止1回（7/3）  
学習者のべ人数：344人（児童生徒 198人、保護者 146人）  
ボランティアのべ人数：157人  
参加者の国籍：中国、台湾、韓国、フィリピン、ネパール、

② 夏休みにほんごひろば

夏休み期間中に集中して苦手な教科を勉強したい、夏休みの宿題をひとりで終わらせるのが難しいという外国人児童生徒や、国際結婚による多文化家族の児童生徒を対象に、に学習支援教室を実施した。

開催場所：北九州市立小倉中央小学校  
開催期間：8月7日（火）、8日（水） 計2回 10:00～12:00  
学習者のべ人数：29人（児童生徒 21人、保護者 8人）  
ボランティアのべ人数：18人  
参加者の国籍：中国、フィリピン、ネパール、モロッコ、  
南アフリカ

(イ) 外国人生活者支援

① ママとパパのためのほんご教室（生活日本語コース）

主に子育て中の外国人住民を対象に、生活に必要な日本語や生活情報を提供する場として託児が可能な施設と連携し、市内2ヶ所で教室を実施した。

【黒崎】開催場所：北九州市立子どもの館  
開催期間：4月12日～3月14日、毎週木曜日 10:30～12:00  
開催回数：40回 参加者数：のべ232人  
参加者国籍：中国、フィリピン、インドネシア、韓国、ベトナム、  
タンザニア、台湾、マレーシア、モンゴル、ミャンマー、  
シンガポール、ウズベギスタン、カンボジア、タイ

【小倉】開催場所：北九州市立子育てふれあい交流プラザ  
開催期間：4月13日～3月22日、毎週金曜日 10:30～12:00  
開催回数：38回 参加者数：のべ207人  
参加者国籍：中国、韓国、台湾、フィリピン、ベトナム、米国、  
英国、カナダ

※ 日本語学習のほか、各団体の連携を得て両教室で防災や公共交通機関の利用方法等、随時生活情報の授業を行った。また、これらの体験を兼ねて TOTO

ミュージアムや水環境館を訪問するお出かけ学習や、浴衣の着付体験等も実施した。また、日本語コーディネーターが参加申請者のインタビューを行い、各学習者のバックグラウンドと明確な日本語学習の目的を把握することにより、生活支援も含めたきめ細かな指導や対応にあたった。

② ママとパパのためのにほんご教室

(エンパワメント支援のための日本語集中コース)

より集中して日本語レベルの向上のための学習を希望する外国人のために、就業や社会参画に繋げるためのエンパワメント支援の一環として、語彙・文法等日本語能力の向上に特化した日本語集中コースを実施し支援を強化した。

【黒崎】開催場所：北九州市立子どもの館

開催期間：4月12日～3月14日、 毎週木曜日 13:00～14:30

開催回数：38回（3.5シリーズ） 参加者数：のべ193人

参加者国籍：中国、フィリピン、タイ、台湾、インドネシア、  
ベトナム、シンガポール、モンゴル、ミャンマー、  
タンザニア

【小倉】開催場所：北九州市立子育てふれあい交流プラザ

開催期間：10月5日～3月22日、 毎週金曜日 13:00～14:30

開催回数：19回（2シリーズ） 参加者数：のべ61人

参加者国籍：中国、韓国、カナダ、ベトナム、米国

オ 外国人市民へのエンパワメント支援

(ア) 多文化共生の担い手のための研修

調査や各方面との連携から人選した、多文化共生キーパーソンや外国人市民 人材に対し、それぞれの個性を活かして社会参画するための研修を実施した。

- ① 八幡西生涯学習総合センター 1回 4人  
(気ままにセミナー「初めての国際交流」講座参加者との、やさしい日本語での  
会話スタッフとして)
- ② 希少言語外国人の発掘事業 6回 8人  
(外国人ヒアリングの協力者として)
- ③ 多文化共生ディスカッション 2回 8人  
(ディスカッションのスピーカーとして)

- |   |    |     |
|---|----|-----|
| ④ 市職員向け「やさしいにほんご」研修<br>(ロールプレイングの会話スタッフとして) | 1回 | 5人  |
| ⑤ ネパール人対象日本語スキルアップ講座<br>(受講者として)            | 4回 | 17名 |

合計：14回 42人

(イ) 多文化共生の担い手派遣学習会

コミュニケーション能力や個人の持つスキルが、日本人市民に対する多文化共生啓発に十分生かせると思われる外国人人材を講座やイベント等に派遣する等して、多文化共生の担い手として在住外国人市民の活躍の機会を創出した。

- |  |    |     |
|--|----|-----|
| ① 西部障害者福祉会館講座<br>(外国料理講座の講師として)                              | 1回 | 1人  |
| ② 八幡西生涯学習総合センター<br>(気ままにセミナー「地図の上で旅してみようスリランカ」、国際情勢講座の講師として) | 2回 | 14人 |
| ③ 国際交流まつり～世界のママの味～<br>(各国料理の出展者として)                          | 1回 | 25人 |
| ④ 八幡西区主催防災訓練<br>(中学生向け防災教育講師として)                             | 1回 | 1人  |
| ⑤ 校区地域防災訓練(避難訓練)<br>(参加外国人の補助者として)                           | 2回 | 4人  |
| ⑥ 八幡西生涯学習総合センター<br>(市民カレッジ「国際交流とボランティア」講師として)                | 3回 | 7人  |
| ⑦ 市民センター 生涯学習講座・人権市民講座<br>(異文化理解講座及び外国料理講座の講師として)            | 1回 | 1人  |
| ⑧ 市立子ども図書館オープニングイベント<br>(外国語絵本読み聞かせイベント講師として)                | 5回 | 5人  |
| ⑨ NPO法人、ボランティア団体等への派遣  | 2回 | 5人  |

(シンポジウムパネリスト、国際理解講座、文化活動講師、研修生向け講座の講師等として)

- |  |    |    |
|--|----|----|
| ⑩ 外国人対象の講座<br>(ママとパパのためのヨガ体験講師として)           | 1回 | 1人 |
| ⑪ 福岡県弁護士会北九州支部研修会<br>(外国人の通訳人を介した相談研修の通訳として) | 1回 | 2人 |
| ⑫ ネパール人対象日本語スキルアップ講座<br>(講座の講師として)           | 3回 | 7人 |
| ⑬ LOVE FM 多文化共生啓発番組<br>(日本での経験を語る出演者として)     | 3回 | 3人 |

合計：26回 76人

(ウ) ネパール国籍市民等へのヒアリング

市内で急増するネパール国籍外国人市民を中心にヒアリングを行い、北九州市での生活な支援や要望、コミュニティや同国人同士の繋がり、日本語学習の状況等についてヒアリングを行った。併せて、人材が不足しているネパール語の行政通訳者の掘り起しなどキーパーソンの発掘を行った。

ヒアリング回数：6回 人数：8名(国籍：ネパール、フィリピン)

(エ) ネパール国籍外国人を対象とした日本語スキルアップ講座

前記ヒアリングを受け、日本語能力の向上を目指す人材が多いことから、市内在住ネパール国籍外国人を対象としたサロン形式の講座を開催し、日本語能力の向上と情報交換を行った。

開催日：2月10日・24日、3月3日・10日 いずれも(日) 計4回

場所：AIMビル会議室 講師：日本語・通訳派遣コーディネーター

参加者：のべ28人 ※3/10は、「いろいろな国の人と街歩き」として実施

(オ) 多文化共生ディスカッション(主催：北九州市国際政策課)

外国人市民が抱える生活上の諸問題や支援に対するニーズの把握を行い、北九州市の多文化共生のまちづくりを推進するため、協会からファシリテーターを派遣し意見交換を行った。

**\*第1回**

開催日：1月18日（金） 場 所：沢見市民センター  
参加者：インドネシア国籍の外国人市民 5人  
派遣者：外国人支援担当主任（ファシリテーターとして）

**\*第2回**

開催日：3月13日（水） 場 所：西部毎日会館会議室  
参加者：フィリピン・インドネシア国籍の外国人市民 4人  
派遣者：外国人支援担当主任（ファシリテーターとして）

**(2) 外国人市民への防災支援 《北九州市からの受託事業》**

災害時に弱者となりやすい外国人市民支援のため、防災啓発や防災訓練などへの参加、災害時通訳サポーターの拡充とフォローアップ研修などを実施した。また、大規模災害発生時等に外国人市民への情報発信等を行う「災害時多言語支援センター」設置に係る北九州市との協定を締結した。

**ア 市と協会の「大規模災害発生時における外国人の支援に関する協定」の締結**

地震等の大規模災害発生時に、市の要請に基づいて協会が「市災害多言語支援センター」を立ち上げ、避難所の運営補助やライフライン情報等の翻訳・発信、外国人からの相談等に応じるための協定を締結し、締結式を実施した。

日 時：6月20日（水） 場 所：本庁舎記者会見室  
署名者：北九州市長、（公財）北九州市国際交流協会理事長

**イ 外国人市民対象の防災講習会**

日本語でのコミュニケーションが難しく、かつ災害に関する知識や経験があまりない市内在住外国人市民を対象に、日本で起こる災害や緊急時の対策について基本的な知識を学ぶ講習会を実施した。

**\*第1回**

開催日：9月13日（木）  
場 所：コムシティ7F（子どもの館 会議室）  
内 容：外国人子育て世代のための「119番通報練習」  
講 師：八幡西消防署予防課  
参加者数：9人（インドネシア、台湾、フィリピン、ミャンマー、タイ）

**\*第2回**

開催日：9月14日（金）

場 所：こくらAIMビル3F（子育てふれあい交流プラザ）

内 容：外国人子育て世代のための「119番通報練習」

協 力：小倉北消防署予防課

参加者数：8人(中国、フィリピン)

#### \*第3回

開催日：10月13日（土）

場 所：北九州市立大学留学生会館→ひびきの小学校

内 容：若松区防災訓練への参加（避難訓練、避難所説明、救助・消火訓練  
見学、煙脱出訓練体験、防災ハンドブック・非常食の配布と説明）

参加者数：5人（早稲田大学、九州工業大学の留学生）

国籍：エジプト、バングラデシュ、マレーシア、トルコ、シリア）

#### ウ 八幡西区防災訓練における中学生への防災教育

八幡西区防災訓練において、中学3年生を対象に災害時の外国人への避難誘導や接し方等について、実際に熊本地震を体験した外国人講師を招き講習会を実施した。

開催日：12月1日（土） 場 所：穴生中学校

対 象：中学3年生140人（35人×4回）

講 師：北九州市企画調整局国際政策課多文化共生係長 チョウドリ雅子氏  
久留米大学外国語教育研究所講師

ランブクピティヤ・ディヌーシャ氏

テーマ：「北九州市の在住外国人」「熊本地震と私」

#### エ 北九州市災害時外国人支援関係部局および災害時通訳者のための研修会

北九州市と協会が、「大規模災害発生時における外国人の支援に関する協定」を締結したことから、市の災害時外国人支援関係各部局の担当者等を対象に外国人支援の基礎を学ぶ研修会を実施した。

実施にあたっては、NPO法人多文化共生マネージャー全国協議会の講師派遣研修プログラムを活用し、大規模災害時に現場で外国人支援に携わった豊富な経験を持つ講師を招聘し実施した。

開催日：1月25日（金） 場 所：八幡西生涯学習総合センター会議室

講 師：NPO法人多文化共生マネージャー全国協議会理事 高橋伸行氏

テーマ：災害多言語支援センターの設置・運営などについて学ぶ

- ・講義「災害多言語支援センターの役割やその実際について」
- ・ワークショップ「災害時の外国人支援の体制づくりに向けて  
～やさしい日本語とピクトグラム、解決すべき課題の共有」

参加者：北九州市関係部局（国際部、危機管理室、各区総務課およびコミュニティ支援課災害担当、国際交流協会外国語相談員、災害支援NPO法人など）  
計 28人

#### オ 災害時通訳サポーターのフォローアップ

日本語によるコミュニケーションが難しい外国人に対し災害時に文化や習慣の違いを踏まえ、通訳あるいは翻訳等の言葉の支援を行う通訳者を対象に通訳・翻訳ボランティアスキルアップ研修を行った。

開催日：3月17日（土）

場 所：八幡西生涯学習総合センター 会議室

講 師：（公財）仙台観光国際協会（多文化社会コーディネーター） 菊池 哲佳氏

内 容：講演「多言語支援センター、災害時通訳・翻訳ボランティアの活動について」

ワークショップ「災害時の通訳・翻訳の模擬体験（やさしい日本語）」

参加者数：29人

#### カ 防災に関する啓発ツールの配布

日本での防災対策として、多言語による緊急時の連絡先や発信される言葉についての啓発ツールを配布した。

（配布したツール）

\* 多言語防災啓発シール

\* 避難所指さし会話帳（英語・中国語・韓国語・ベトナム語(2018年度追加)）

※ 上記受託事業の他、市危機管理室「みんな de Bousai」事業協力を行った。

（ア）戸畑区牧山校区「みんな de Bousai」避難訓練への在住外国人参加

開催日：10月14日（日） 9：00～12：30

場 所：牧山市民センター

参加者：校区内企業で実習中のベトナム人技能実習生 7人

協力内容：ベトナム語通訳とコーディネーターを派遣

（イ）八幡西区光貞校区「みんな de Bousai」避難訓練への在住外国人参加

開催日：11月17日（日） 9：00～12：30

場 所：浅川中学校

参加者：校区内に居住する外国人市民等 13人

（インドネシア、エジプト、インド、中国、ベトナム）

協力内容：英語・中国語・ベトナム語・インドネシア語通訳とコーディネーターを派遣

## 2 協働による多文化共生のまちづくり

### (1) 地域の民間団体と連携・協働した多文化共生の地域づくり

北九州地域の国際化及び多文化共生を推進するため、市民団体との連携を図り、活動支援を行った。

#### ア 国際交流団体との連携

(ア) 北九州国際交流団体ネットワーク（キーネット）支援

北九州地域の国際交流団体ネットワーク組織であるキーネットの加盟団体相互の情報交換等の活動を事務局として支援した。（63団体/3月31日現在）

##### ① 総会

日時：4月22日（日） 11:00～12:00

場所：JICA九州 講堂

交流会：12:00～14:00 JICA九州レストラン

※ 交流会ファシリテーター

福岡教育大学非常勤講師・青年海外協力隊BOG 佐藤 倫子氏

##### ② 役員会/情報交換会等の開催 7回

##### ③ 北九州留学生文化祭への協会&キーネット紹介ブース出展

留学生文化祭の会場に協会やキーネット加盟団体の活動やイベントを紹介するコーナーを設け、留学生や市民にPRを行った。

日時：10月7日（日） 11:00～16:00

場所：北九州リバーウォーク周辺 ※10/6の出展は台風のため中止

##### ④ キーネットパネル展

「北九州国際交流団体ネットワーク」加盟団体のうち、希望する団体に活動内容を紹介するパネルを作成してもらい展示した。

開催期間：10月30日～11月13日 参加団体：16団体

場所：ひとみらいプレイス通路マーメイド広場

⑤ キーネット設立30周年記念講演会

日 時：2月10日（日） 13：30～15：00

場 所：北九州国際会議場メインホール

講 師：立命館アジア太平洋大学（APU） 学長 出口 治明氏

テーマ：人と人を繋ぐ多文化共生社会

来場者数：320人

(イ) 民間団体の活動支援

本市の国際化及び多文化共生に貢献している民間団体の活動が、広く世間に評価されるように表彰事業に民間団体を推薦した。また、民間団体と連携・協働するとともに、民間団体が開催する事業の共催や後援、当協会が配信するメールマガジンに情報提供し広報支援等を行った。

表彰推薦：7件（うち受賞6件）

北九州市社会福祉協議会表彰：2件

芳賀教育財団ボランティア顕彰：2件

芳賀教育財団活動助成金：1件

西日本国際財団アジア貢献賞：1件

共 催：6件 後 援：17件

イ 地域日本語教室との連携

(ア) 地域日本語教室との連携と支援

地域の日本語教室を支援するため、市内日本語教室リストを作成し区役所等で配布するとともに、協会のホームページにおいても情報提供を行った。

また、今後の支援に向け、日本語コーディネーターが市内の地域日本語教室を訪問して運営視察及びヒアリングを実施するとともに、運営に関わるボランティアのための講座を実施した。

① 日本語コーディネーターによる日本語ボランティア初心者へのスキルアップ講座

当協会作成の「ゼロビギナー用日本語教材」を使い、日本語ボランティア 初心者に対してスキルアップ講座を実施した。

開催日：6月13日（水）、20日（水）、27日（水） 全3回

講 師：北九州国際交流協会 日本語コーディネーター

受講者：6/13：10人、6/20：5人、6/27：9人 計24人

② 地域日本語教室ボランティアスキルアップ講座

福岡県国際センターと共催でスキルアップ講座を開催した。

開催日：9月2日(日)、10月20日(土)

講師：東海日本語ネットワーク 副代表 米勢治子氏

国立国語研究所日本語教育・情報センター 教授 野田尚史氏

受講者：9/2：37人、10/20：18人

### ③ 地域日本語教室意見交換会

市内で活動する地域日本語教室に運営補助金を交付するとともに、各教室の現状や苦心している点、協会への要望等について意見交換を行った。

開催日：12月22日(土)

参加教室数：12団体

### (イ) 生活者としての外国人を対象とした「日本語おしゃべり発表会」の開催

外国人住民が、年齢、在留資格、日本語レベル等を問わずに参加できる発表会を開催した。出場者は、多様な分野・視点から個々の日本語で発表することで日本語学習のモチベーションに繋げるとともに、日本人住民にとっては、地域に住む外国人の声を聞く機会とした。

企画・運営にあたっては、ボランティアによる地域日本語教室の有志や市民参加による実行委員会を立ち上げ、北九州市内とその近郊に広く発表者を募り、市民の観覧を呼びかけることで、国際理解と多文化共生啓発を図った。

開催日：2月3日(日) 14:00～17:00

開催場所：北九州市立子どもの館 子どもホール

発表者数：17人

出身国：中国、インドネシア、モンゴル、ベトナム、タイ、インド、米国、

来場者数：200人 実行委員数：11人

実行委員会：全3回(11月～1月)

## (2) 外国人支援機関と連携・協働した多文化共生の地域づくり

地域の外国人支援機関との連携を密にし、情報交換を行いながら多文化共生の地域づくりに取り組んだ。

### ア 国際交流団体との連携

協会の外国人支援事業(外国人相談・日本語教育・通訳派遣)と、地域の外国人支援機関(公的サービス・専門機関・専門団体)等との情報交換会等を通じてネットワークを構築し、外国人住民に対して包括的な支援を可能にすることにより、多文化共生の地域づくりを目指す事業を実施した。

(ア) 北九州外国人支援関係機関連絡会議の開催（再掲）

外国人支援に関わる関係者の情報交換会を開催し、各立場での状況や内容について意見交換を行うことで関係機関の緊密な関係を築き、外国人の抱える課題や傾向について情報共有を行った。

開催日：10月31日（水）、2月13日（水）

(イ) 行政書士による入国管理法改正に関する研修会（再掲）

2019年度から大幅に制度が変更されることが検討されており、本市でも新たに設けられる在留資格を持つ在住外国人市民が増加することが予想されることを踏まえ、専門家を講師に招き、協会の外国語相談員をはじめ、外国人市民支援団体や北九州市の関係部署に広く声をかけ制度の概要や問題点などに関する研修を実施した。

開催日：10月31日（水）

(ウ) 北九州市災害時外国人支援関係部局および災害時通訳者のための研修会

（再掲）

北九州市と協会が、「大規模災害発生時における外国人の支援に関する協定」を締結したことから、市の災害時外国人支援関係各部局の担当者等を対象に外国人支援の基礎を学ぶ研修会を実施した。

開催日：1月25日（金）

**イ 多文化ソーシャルワークの導入による多文化共生の**

**地域づくり推進システム検討事業 《自治体国際化協会助成事業》**

協会の外国人支援事業（外国人相談、日本語教育、通訳派遣等）と、地域のリソース（公的サービス、専門機関等）等を繋ぐ多文化ソーシャルワークを行うことにより、外国人市民に対しては包括的な支援及びエンパワメントを、協会、行政、各機関等に対しては、よりスムーズで効果的な連携をできるようなシステム構築を目指し、ますます複雑化する外国人支援問題の解決に向けた協働を図るための調査・検討を行った。

(ア) 「外国人支援関係機関連絡会議（多文化ソーシャルワーク導入検討委員会）」の  
企画・運営

外国人支援に関わる行政・専門家などが一堂に会し、ネットワークを強化すると同時に、次年度以降に、多文化ソーシャルワークの導入へと繋げるためのキックオフミーティングの要素を持つ会議を実施した。

本会議の実施においては、事務局機能を協会が行い、専門的な役割を外国人支援団体が担うという役割分担をすることで、効果的なネットワーキングへと繋げることもねらいとした。

開催日時：

第1回 平成30年10月31日（水）13:30-16:00（出席者28名）

第2回 平成31年 2月13日(水) 13:00-16:00 (出席者24名)  
開催場所：キプロホール

出席機関：国際政策課多文化共生係、子育て支援課母子保健係、戸籍住民課指導係、区役所保健福祉課地域保健係、区役所子ども家庭相談コーナー、教育委員会、福岡県弁護士会北九州部会、男女共同参画センタームーブ相談室、福岡県行政書士会北九州国際渉外部、外国人インフォメーションセンター、北九州国際交流協会

(イ) 多文化ソーシャルワークに関する地域の調査およびシステムの検討

多文化ソーシャルワークの導入に向けた事業の実施、ソーシャルワーク関連の調査研究、専門家による検討会の開催、関連団体の会議・啓発事業等への参加、地域住民や外国人住民からの聞き取りを行いシステムの検討を行った。

① システム検討会議(専門分野別)の実施

第1回 平成30年12月 「多文化ソーシャルワークと法律」

場 所：北九州弁護士会館

出席者：弁護士会(6名)、行政書士会(4名)、協会(3名)

第2回 平成31年2月 「多文化ソーシャルワークのシステム構築」

場 所：キプロホール

出席者：有識者(1名)、国際政策課(2名)、協会(4名)

第3回 平成31年2月

「相談・通訳・日本語教育事業と多文化ソーシャルワーク」

場 所：協会会議室

出席者：他地域の実践者(2名)、国際政策課(2名)、協会(11名)

② 連携事業への参加・講演の実施

下記への参加・講演等を行い、北九州市の外国人および支援の現状について周知を行うと同時に、各機関との連携を強化し、多文化ソーシャルワーカーを核としたシステム構築の基盤づくりを行った。

- ・「医療通訳システム課題検討会議 in 九州」出席(10月)
- ・「福岡県弁護士会北九州部会国際委員会」出席  
(4月、6月、8月、12月、2月)
- ・「行政書士会外国人相談会 第300回記念式典」参加(4月)
- ・JICA「クロスロードコミュニケーション」にてパネルディスカッション実施  
(10月)
- ・「若戸地区高等学校県立学校人権・同和教育研究集会」出席(11月)
- ・「福岡県弁護士会北九州部会外国人事件研修」出席(2月)

③ 聴き取りの実施

多文化ソーシャルワークシステム構築の見地から、様々な機関・団体等への聞き取りを行った。

(対象者：市外・県外の外国人支援先進地域の実践者、市内行政機関、外国人市民、ソーシャルワーカー、日本語教師 他)

(ウ) 相談対応に対する助言およびアドバイザー派遣

協会の窓口だけでは対応が難しい複雑な相談について、外国人支援専門機関から外国人支援従事職員へ電話・メールでの助言を依頼する他、ソーシャルワーカーが必要なケースについて、当該言語ややさしい日本語での実践が可能な専門機関ソーシャルワーカーが対応した。

また、専門機関のアドバイザー派遣により、協会の外国人支援従事職員の研修等のアドバイジング、地域住民の防災訓練や相談等外国人が暮らす地域づくりに関わる助言を行った。7月の九州北部豪雨を受けて設置された多言語支援センターでは、外国人支援専門機関と連携して緊急多言語対応体制を立て、24時間体制で待機し、外国人への対応や情報発信のための翻訳を行った。

① 外国人支援専門機関から外国人支援従事者へのアドバイジング

該当件数：626件（アドバイジング対象となった窓口相談件数）

② 外国人支援専門機関ソーシャルワーカーによるケース直接対応

対応回数：88件（電話・メール対応を含む）

内容/連携先

障害（子ども）/特別支援学校・子ども家庭相談コーナー

就労（契約不履行）/弁護士・労働基準監督署

DV（離婚と在留資格）/法テラス、弁護士、行政書士

精神（うつ、妄想）/障害者高齢者相談コーナー、病院

育児（ひとり親・保護）/子ども家庭相談コーナー、弁護士、市民課他

虐待（病院・在留資格）/子ども家庭相談コーナー、行政書士

教育（子の呼び寄せ）/行政書士、教育委員会、日本語ボランティア

相続（海外にある不動産）/弁護士

複合（パスポート他）/大使館、銀行、区役所 など

③ 相談対応等に対する研修実施

研修回数：相談員研修 11回、日本語コーディネーター研修 1回、外国人支援従事者研修 3回

④ モデル地域への防災訓練を通じたアドバイジング

A 戸畑区牧山地区

ベトナム人技能実習生7名が参加し、地域住民の前に出て日本語で自己紹介をしたり、ベトナム語の挨拶を紹介するなどの交流も行った。

B 八幡西区光貞地区

防災訓練当日は、留学生・大学関係者・家族などの外国人の参加があった。参加外国人が自己紹介や宗教上の食事制限の話をした他、「やさしい日本語」を用いた外国人とのコミュニケーションに関する話を行った。

⑤ 多言語支援センター開設時の緊急多言語対応（24時間・夜間）の実施

日時：7月6日～9日 ※ 24時間体制は開設時～8日19時

言語：英語・中国語・韓国語・ベトナム語・やさしい日本語

内容：必要な情報を迅速に伝えるため、協会と外国人支援専門機関が

連携し、翻訳依頼や3者通訳のできる体制を整え、情報発信や夜間の電話・メールでの問い合わせ対応を行った。

⑥ 多文化ソーシャルワーク実践のための多言語ツール作成

1. 外国人のための防災啓発情報
2. 指さし会話集

※ 上記（ア）～（ウ）の活動をふまえ、北九州市の在住外国人の現状に則した多文化ソーシャルワークを活用した方向性を取りまとめ、「報告書：多文化ソーシャルワークに関する地域の調査およびシステムの検討（まとめ）」を作成した。

## ウ 行政との連携

### （ア）行政通訳派遣（再掲）

北九州市の委託を受け、日本語によるコミュニケーションが困難な外国人市民のために、北九州市の組織や学校等または外国人市民からの依頼により、行政通訳者を派遣した。また、医療機関や行政機関、子育て支援機関、外国人住宅等に「多言語ママパパサポーター」として通訳者を派遣した。

### （イ）外国人市民への防災支援（再掲）

北九州市の委託を受け、本語でのコミュニケーションが難しく、かつ災害に関する知識や経験があまりない市内在住外国人市民を対象に、日本で起こる災害や緊急時の対策について基本的な知識を学ぶ講習会を実施した。

また、日本語によるコミュニケーションが難しい外国人に対し災害時に文化や習慣の違いを踏まえ、通訳あるいは翻訳等の言葉の支援を行う通訳者を対象にフォローアップ研修を行った。

### （ウ）多文化共生の人材づくり（2-③-イ）に掲載

市民文化スポーツ局の委託を受け、ひとみらいプレイス関係団体と連携を図りながら、地域で暮らす日本人と外国人とが互いの違いを理解し双方の文化に触れながら、将来の多文化共生を担う人材育成を目指した事業を実施した。

## ③ 多文化共生の地域づくり

異なるものを理解・尊重する社会的な土壌をつくるために、市民を対象にした国際理解教育を推進した。また、地域の講座やイベントを通じ、市内の児童・生徒をはじめ日本人市民に対して多文化共生への理解を促進するための事業を実施した。

## ア 国際理解教育の推進

### (ア) 国際理解教育講師の派遣・紹介 《福岡県・福岡市協働事業》

異文化理解に関心を持つ市民を対象に、世界の文化や習慣を体験的に学んでもらうため、小・中・高等学校や市民センター等へ外国人市民などを国際理解教育の講師として派遣する事業を福岡県、福岡市、北九州市の3協会の協働事業として実施した。

#### 【講師派遣事業（無料）】北九州市内の学校への派遣

17件（13校） 派遣講師：32人、受講者：1,380人

#### 【講師紹介事業（有料）】北九州市内の団体等への派遣

2件（2団体） 派遣講師：3人、受講者：160人

### ① 平成30年度国際理解教育推進事業 事例発表会

福岡県国際交流センターと共催により、北九州地域で初めて事例発表会を開催した。

開催日：8月22日(水) ※福岡市は、8月3日(金)開催

講師：北九州市立あやめが丘小学校 教諭 三橋道子氏

カリブーニひまわりの会 中原由美子氏

国際理解教育登録講師 金 静和氏

受講者：20人

### (イ) 国際交流員・国際理解推進員派遣

国際交流員・国際理解推進員が講師となり、市民センターや学校等で、自国の生活や文化などを紹介することにより市民の異文化理解を促進した。

派遣件数：2回 参加者数：102人

6/16 八幡生涯学習総合センター 気ままにセミナー「米国新時代」

10/7 リバーウォーク周辺特設会場 留学生文化祭「シンガポール紹介」

※ 上記の他、協会職員等を講師として派遣した。 計13回

・周望学舎「地域ふれあいコース」	4月26日(木)	32
・福岡県弁護士会国際部会研修	8月24日(金)	10
・西南女学院大学助産別科コース	8月29日(水)	16
・小倉中央市民センター人権市民講座	9月7日(金)	80
・生涯学習ボランティア超入門講座	9月28日(金)	23
・ふくおか地域日本語の会勉強会	9月29日(土)	16

- ・西南女学院大学看護学科 11月13日(火) 63
- ・若戸地区県立高校教諭研修会分科会 11月27日(火) 30
- ・北九州商工会議所勉強会 12月4日(火) 20
- ・尾倉中学校キャリア教育プログラム 12月19日(水) 114
- ・多文化共生ディスカッション(第1回) 1月18日(金) 10
- ・福岡県弁護士会北九州支部研修会 2月28日(木) 20
- ・北九州市職員研修「やさしい日本語」 3月13日(水) 15

(ウ) 国際理解教育の推進

異文化理解を推進し、多文化共生社会を推進するための事業を実施した。

① 英語で語る自分の国

北九州市在住の外国人市民が、自国の文化等を英語で紹介することで、海外の文化を生々の声で聴き身近に感じてもらう機会と、グローバル化する現代に必要なとされる英語に親しむ機会を提供した。

	実施日	内 容	講 師	参 加
①	4月7日	エジプト	ヒシャム・ナビル	61 人
②	5月13 日	マレーシア	リン・チン・イー	51 人
③	6月3日	メキシコ	サルバドル・ブランコ	51 人
④	8月18 日	ナイジェリア	テジュモラ・タイオ	52 人
⑤	9月9日	フランス	マーティン・ロンド	63 人
⑥	11月10 日	米 国	パトリック・スペルマン	59 人
⑦	12月8 日	ベルギー	アルノー・ジャマー	49 人
⑧	3月16 日	サモア	アレタ・アリサペタ・ロレタ	43 人

参加人数：429人

- ② ボランティアスキルアップ講座（主催：八幡西生涯学習総合センター）

【国際交流とボランティア】

開催日：9月15日（金） 全1回

テーマ「ボランティア活動における国際交流」

参加者：14人（事前申込制）

※ 講師として、協会職員、国際交流員、地域ボランティア日本語教室活動者（2教室、3名）、インターンシップ大学生（2名）が参加した。

- ③ 気ままにセミナー（主催：八幡西生涯学習総合センター）

【国際情勢】

開催日：6月16日（土） 全1回

テーマ「アメリカ人に訊く“アメリカ合衆国”～トランプ新時代～」

参加者：42人（事前申込制）

※ 講師として、国際交流員が米国の国際情勢について講演した。

【はじめての国際交流～外国人に伝えるコミュニケーションのコツ～】

開催日：9月22日（金）・10月27日（土） 全2回

テーマ：第1回「あなたの言葉、外国人に通じますか？」

第2回「いろんな国の人と話してみましよう！」

参加者：9/22：26人 10/27：23人 計 49人

※ 講師として、協会職員の他、日本語教室ジャスミンのボランティア（3名）とママパパ日本語教室と受講者（計4名）が参加して日本人受講者とやさしいにほんごの学習と会話をし、外国人のエンパワメント支援の研修会も目的として実施した。また、大学生インターンシップ生も参加して、協会事業のPRプレゼンテーションを行った。

【地図の上で旅してみよう】

開催日：7月21日（土）

テーマ：「スリランカの旅」

講師：オフィスみやび 代表 齋藤 雅美

北九州在住留学生等 13人

参加者：32人（事前申込制）

※ 北九州スリランカの会を通じて講師を紹介した。

- ④ 異文化交流講座「外国料理づくり」（主催：西部障害者福祉会館）

開催日：7月26日（木） 全1回

テーマ「ベトナム料理を作ってみよう」

参加者：20人（事前申込制）

※ 講師として、協会外国語相談員を派遣した。

⑤ 留学・ワーキングホリデーセミナー in 北九州

社団法人日本ワーキングホリデー協会と共催で、海外留学やワーキングホリデーに興味を持つ青少年のためのセミナーを開催した。

開催日：9月9日（土）、3月9日（土）

参加者：9/9 11人、3/9 9人（事前申込制） 計20人

⑥ インターンシップの受入れ

韓国全羅南道東新大学4人、北九州市立大学3人、西南女学院大学2人、米国創価大学1人、長崎大学1人、北九州市立ユースステーション2人、福岡県立大学1人、福岡県立北九州高校1人 計8回：15人

⑦ 視察受け入れ

・ビュージェットサウンド大学（米国）	5月24日（木）	5人
・香春町（町長・町づくり課長ほか）	8月24日（金）	5人
・独立行政法人日本学生支援機構（JASSO）	9月30日（土）	2人
・マレーシア・プトラ大学短期留学生（九工大）	11月13日（火）	22人
・西日本新聞社	2月7日（木）	1人
・OUE N塾 in 福岡・北九州参加留学生	2月14日（木）	13人

## イ 多文化共生啓発

(ア) 多文化共生啓発

多文化共生についてより深く理解し身近に感じてもらうため、市民や市民団体等に対し学習会や講座、イベント等を通して、多文化共生の啓発を行った。

① 北九州留学生文化祭への協会&キーネット紹介ブース出展（再掲）

留学生文化祭の会場に協会やキーネット加盟団体の活動やイベントを紹介するコーナーを設け、留学生や市民にPRを行った。

開催日：10月7日（日）

場 所：北九州リバーウォーク周辺 ※10/6の出展は台風のため中止

来場者数：300人（協会・キーネットブース来訪者のみ）

② クロスロード・コミュニケーションへの事業協力

多文化共生啓発月間に合わせ、福岡青年海外協力協会主催のイベントの 異文化理解セミナーに協会職員等を派遣した。

開催日：10月13日（土） 会場：JICA九州国際センター  
内容：「外国人ホンネの座談会～10年以上暮らして感じること」  
派遣者：協会外国語相談員OB等5名  
来場者数：30人

③ 「市民ふれあいフェスティバル」への出展、事業協力

協会事業やキーネットおよびキーネット加盟団体のパネル展示や出店を行うとともに、実行委員のメンバーとして企画・実施に協力し、協会事業やキーネットについてのPRを行った。

開催日：10月28日（日） 会場：ウェルトばた（戸畑区）  
主催：市民ふれあいフェスティバル実行委員会、北九州市社会福祉協議会  
来場者数：680人（協会ブース来訪者のみ）

④ 「多文化共生わいわい祭り」への出展、事業協力

世界の民族衣装体験コーナーを出展し、協会事業をPRするとともに実行委員のメンバーとして企画・実施に協力した。

開催日：11月3日（土・祝） 会場：北九州YMCA（小倉北区）  
主催：多文化共生わいわい祭り実行委員会  
（北九州市、北九州YMCA、キーネット、協会）  
来場者数：393人（協会ブース来訪者のみ）

⑤ 市民カレッジ「もっと身近に！国際交流とボランティア」

生涯学習総合センター事業の1コースのコーディネートを担当した。

開催日：全5回（1月12日、19日、26日、2月2日、2月16日（土））  
会場：八幡西生涯学習総合センター 会議室  
受講者数：のべ67人

内容：第1回 多文化共生ってなんだろう？&外国人インフォメーションセンターで働く人の声を聞いてみよう！  
第2回 国際交流員から話を聞いてみよう！  
第3回 留学生とホストファミリーボランティアから話を聞いてみよう！  
第4回 JICA青年海外協力隊OBから話を聞いてみよう！  
第5回 日本語コーディネーター、日本語ボランティアの話を聞いてみよう！

⑥ L e t ' s T a l k

外国人市民と日本人市民とが、ゲームやおしゃべりを通して相互理解を 深め、多文化共生を促し国際理解を推進する交流会を開催した。

開催日：11月17日、12月22日、1月26日、2月23日

いずれも（土）計4回

場 所：協会 交流スペース

参加者：122人

- ・11/17 21人 日本人：16人、外国人：5人（フランス、カナダ、中国、シンガポール）
- ・12/22 33人 日本人：23人、外国人：10人（フランス、台湾、中国、インド、タイ、エジプト、シンガポール、バハマ）
- ・1/26 34人 日本人：21人、外国人：13人（台湾、中国、韓国、シンガポール、フランス、ナイジェリア、英国、米国）
- ・2/23 34人 日本人：23人、外国人：11人（フランス、台湾、バハマ、米国、インド、ナイジェリア、中国、モンゴル、シンガポール）

⑦ 「日本語おしゃべり発表会」の開催（再掲）

外国人住民が、年齢、在留資格、日本語レベル等を問わずに参加できる 発表会を開催した。出場者は、日本語で発表することで日本語学習のモチベーションに繋げるとともに、日本人住民にとっては、地域に住む外国人の声を聞く機会とした。

開催日：2月3日（日）

(イ) 多文化共生の人材づくり 《北九州市からの受託事業》

北九州からの委託を受け、ひとみらいプレイス関係団体と連携を図りつつ、地域で暮らす日本人と外国人とが互いの違いを理解し双方の文化に触れながら、将来の多文化共生を担う人材育成を目指した事業を実施した。

① キーネットパネル展（再掲）

「北九州国際交流団体ネットワーク」加盟団体のうち、希望する団体に活動内容を紹介するパネルを作成してもらい展示した。

開催期間：10月30日～11月13日 参加団体：16団体

場 所：ひとみらいプレイス通路マーメイド広場

② 英語で語る自分の国「アメリカ合衆国～トランプ新時代」

ひとみらい交流ウィークに合わせ、北九州国際交流協会でも活躍する国際交流員によるスピーチイベントを開催した。

開催日：11月10日（土） 参加者：59人（事前申し込み制）

### ③ 国際交流まつり～世界のママの味～

ママパパ日本語教室参加者等の社会的な自立を支援し、かつ外国の文化について食を通じて理解してもらうためのイベントを「ひとみらい交流ウィーク」期間中に実施した。

開催日：11月11日（日）

出品国：5カ国 6ブース（25名） 来場者：約400人

（フィリピン（ルガウ・ギタシ・リヌック・ココナツカロン・南瓜カロン）、インドネシア（ナゴレン）、タイ（パッタイ）、ベトナム（外餅）、中国（肉まん・豚と卵の煮込））

### ④ 「英語で遊ぼう」＆「英語で学ぼう」

国際理解推進員やALTが講師となり、小学生・中学生を対象に英語に親しみ交流しながら学ぶ講座を開催した。（事前申し込み制）

\*第1回 英語で遊ぼう ～ Let's play（小学生対象）

開催日：2月24日（日）参加者：61人（24人及び保護者等37人）

\*第2回 英語で学ぼう ～ Let's learn（中学生対象）

開催日：3月3日（日）参加者：20人（18人及び保護者等2人）

## 3 多文化共生の担い手育成（グローバル人材の育成）

### (1) 担い手としてのグローバル人材育成

日本人市民、外国人市民にかかわらず、市内における外国人支援や多文化共生啓発等に活躍できるグローバル人材の育成を図る事業を実施した。

#### ア 外国人による地域づくり担い手育成

外国人市民の中から多文化共生の担い手となるコミュニティや人材を発掘、育成するため、地域連携コーディネーター、日本語教育担当コーディネーター、留学生支援担当者、コミュニティ通訳派遣コーディネーター、地域日本語教室等とも連携した事業を実施した。

#### (ア) ネパール国籍市民等へのヒアリング（再掲）

ヒアリング回数：6回

人数：8人（国籍：ネパール、フィリピン）

(イ) ネパール国籍外国人を対象とした日本語スキルアップ講座（再掲）  
開催日：2月10日、24日、3月3日、10日（日）計4回  
参加者：のべ28人

(ウ) 多文化共生ディスカッション（主催：北九州市国際政策課）（再掲）  
開催日：1月18日（金）  
参加者：インドネシア国籍の外国人市民 5人

## イ 外国人による地域の多文化共生の担い手育成

(ア) 多文化共生の担い手のための研修（再掲）  
合計：14回 42人

(イ) 多文化共生の担い手に向けた派遣（再掲）  
合計：26回 76人

## ウ 市民ボランティアの育成

(ア) ボランティア育成講座の実施

協会事業をサポートするボランティアや、国際交流や多文化共生事業に係る市民ボランティアの能力を向上させるため、講習会等を実施し、活動のための支援を行った。

(イ) 外国人市民の市民ボランティアへの参加促進

行政通訳や医療通訳等への登録等協会事業の他、多文化共生を目的とした講座等へのボランティアとしての参画などを促進した。

① ボランティア超入門講座～ダ・カ・ラ ぼらんていあWAたのしい！～

開催日：9月28日（金） 会場：八幡西生涯学習総合センター

講師：協会職員 受講者：23人

内容：様々なボランティアを紹介する講座において、協会事業に関するボランティア活動を紹介した。

② 日本語スキルアップ教室（ネパール語）

開催日：2月10日、24日、3月3日、3月10日 いずれも（土）

会場：AIMビル会議室

講師：協会職員（日本語・通訳派遣コーディネーター）

内 容：ネパール語の通訳派遣の増加と通訳者の不足に対応するため、市内のネパール人へのヒアリングを行い、日本語のスキルアップを希望する市内在住ネパール人対象の講座を開催した。

受講者：28人

③ 医療通訳フォローアップ研修

\*第1回

開催日：9月29日（土） 会 場：八幡西生涯学習総合センター会議室

講 師：北九州市立医療センター 助産師 浅田めぐみ氏

北九州市立八幡病院 小児科副部長 山戸聡史氏

内 容：産婦人科、小児科の医療知識

受講者：20人

\*第2回

開催日：10月13日（土）

会 場：八幡西生涯学習総合センター会議室、協会内ミーティングルーム

講 師：RASCコミュニティ通訳支援センター 専任講師 三木紅虹氏

同 専任講師 ジル・アビュロフ・ニコラ・フリューウ氏

内 容：通訳倫理、通訳技術、模擬通訳練習

受講者：20人（英語・中国語）

④ 日本語コーディネーターによる日本語ボランティア初心者へのスキルアップ講座（再掲）

協作成の「ゼロビギナー用日本語教材」を使い、日本語ボランティア 初心者に対してスキルアップ講座を実施した。

開催日：6月13日（水）、20日（水）、27日（水） 全3回

講 師：北九州国際交流協会 日本語コーディネーター

受講者：6/13：10人、6/20：5人、6/27：9人 計24人

⑤ 地域日本語教室ボランティアスキルアップ講座（再掲）

福岡県国際センターと共催でスキルアップ講座を開催した。

開催日：9月2日（日）、10月20日（土）

講 師：東海日本語ネットワーク 副代表 米勢治子氏

国立国語研究所日本語教育・情報センター 教授 野田尚史氏

受講者：9/2：37人、10/20：18人

⑥ 災害時通訳サポーターのフォローアップ（再掲）

日本語によるコミュニケーションが難しい外国人に対し災害時に文化や習慣の違いを踏まえ、通訳あるいは翻訳等の言葉の支援を行う通訳者を対象に通訳・翻訳ボランティアスキルアップ研修を行った。

開催日：3月17日（土）

場 所：八幡西生涯学習総合センター 会議室

講 師：（公財）仙台観光国際協会（多文化社会コーディネーター）菊池哲佳氏

内 容：講演「多言語支援センター、災害時通訳・翻訳ボランティアの活動」

ワークショップ「災害時の通訳・翻訳の模擬体験（やさしい日本語）」

参加者数：29人

⑦ 弁護士のための外国人要通訳研修

福岡県弁護士会北九州部会との協働により、外国人のための法律相談会を担当する弁護士等に対する研修を行った。

開催日：2月28日（木） 場所：北九州弁護士会館

内 容：通訳人を介したやり取り（民事・刑事）の演習

受講者：15人

※ 協会ボランティア登録状況（登録数は2019年3月31日現在）

・行政通訳ボランティア（登録：128人）

区役所や学校、保健師訪問等、市の機関等での通訳を行う。

【言語別内訳（重複あり）：中国語43人、英語20人、韓国語15人、ベトナム語13人、インドネシア語9人、タガログ語8人、タイ語8人、ポルトガル語4人、スペイン語3人、モンゴル語3人、ネパール語3人、ロシア語2人、フランス語2人、ドイツ語1人】

・医療通訳スタッフ（登録：43人）

医療機関などでの通訳を行う。

【言語別内訳（重複あり）：中国語24人、英語14人、韓国語6人】

・多言語ママパパサポーター（登録：22人）

子育て関連支援のため、医療機関や行政機関、子育て支援機関、外国人住民宅等での通訳等の支援を行う。

【言語別内訳：中国語14人、英語4人、韓国語4人】

・災害時通訳サポーター（登録70人）

災害時、北九州市から依頼があった場合、災害対応業務の通訳や翻訳を行う。

【言語別内訳（重複あり）：中国語30人、英語14人、韓国語9人、インドネシア語4人、タガログ語4人、タイ語3人、ポルトガル語2人、ベトナム語2人、フランス語2人、スペイン語1人、ドイツ語1人、】

- ・専門家相談通訳ボランティア（登録：4人）

専門家相談会での通訳を行う。

- ・ホストファミリーボランティア（登録：84家庭）

留学生やJICAの研修員などの外国人を自宅に招いたり、一緒に外出するなどの交流を行う。

- ・にほんごひろばボランティア（登録10人）

「放課後にほんごひろば」や「夏休みにほんごひろば」に参加している外国人児童生徒及び帰国児童生徒に対して学習サポートを行うボランティア。大学生の他、日本語教育の有資格者、教員免許所持者等が登録。

- ・ママとパパのためのほんご教室ボランティア（登録1人）

黒崎と小倉で実施する「ママとパパのためのほんご教室」において、日本語指導の補助や託児のサポートを行う。

## (2) 地域の多文化共生を推進するための人材づくり

異なるものを理解・尊重する多文化共生の地域づくりに寄与する人材を育成ことを目的とする事業を実施した。

### ア 国際理解教育の推進（再掲）

(ア) 国際理解教育講師の派遣・紹介

(イ) 国際交流員派遣

(ウ) 国際理解教育の推進

### イ 多文化共生啓発（再掲）

(ア) 多文化共生啓発

(イ) 多文化共生の人材づくり

## (3) 市内在学留学生への支援と交流

### ア 留学生への支援

(ア) 留学生への情報提供

新しく北九州市に転入してきた留学生に対して、大学のオリエンテーション等で生活に必要な情報や協会の外国人支援情報等を提供した。

(イ) 留学生支援

留学生は、北九州市内の映画館の窓口で学生証と在留カードを提示すれば、大学生料金 1,500 円が 1,100 円になる割引制度を映画興行組合の協力により 継続実施した。

#### (ウ) 関原北九州大連友好基金事業

北九州市と大連市との友好交流に熱い情熱を燃やし、交流の発展を願い続けた故関原一夫・貞子ご夫妻のご遺志により、関原北九州大連友好基金が設立された。亡きご夫妻のご遺志に添い、大連市との幅広い交流に生かすため、特に若者の将来に期待し、下記の事業を行った。

##### ① 大連市留学生奨学金支給

大連市出身若しくは大連市内の大学及び専門学校を卒業した人で、北九州市内の大学、短大等に留学している 2 人に、月額 2 万円を支給した。

##### ② 大連市大学生奨学金支給

大連市内の大学の日本語学科に在学中の中国人学生で、日本語を学び、且つ優秀な学力を有する者 3 人に、月額 500 元を支給した。

#### (エ) 留学生日本語弁論大会

母国を離れ日本で暮らす留学生たちが、日本での様々な体験を通じて感じたこと、考えていることを日本語で発表する場を提供した。日本人にとっても留学生の声に耳を傾けることで様々な価値観や日本の姿を見直すきっかけとなるよう、また、留学生の日本語の上達に資することから、将来、国境を越えた国際交流への一助とすべく本大会を開催した。

開催にあたり、八幡法人会、北九州小倉ライオンズクラブ、NPO 法人北九州市国際文化交流協会の協力を得て実施した。

開催日：12月16日(日)

発表者：10名(中国5人、ベトナム3人、ネパール1人、スリランカ1人)

来場者：84人

※ 応募者：17人

#### (オ) 文化交流クラブ in 北九州(主催：福岡県留学生サポートセンター)

市内大学に通う留学生を対象に、いけばなによる日本文化体験と交流会を実施するとともに、日本人学生との交流を行った。

開催日：1月12日(土) 会場：北九州国際交流協会 交流スペース

参加学生数：14人(5カ国)

## イ ホストファミリーの支援

国際交流や異文化体験を希望する家庭にホストファミリーボランティアとして登録してもらい、ホームビジットの実施や留学生と交流する機会の提供を行った。また、ホストファミリー同士の意見交換会やホストファミリー向けの異文化理解講座を実施し、情報交換やフォローアップを行った。

#### (ア) 留学生にこここ家族・ホームビジット

##### ① ホームビジット

JICA研修員を家庭に招き、交流を通じて相互理解と親睦を深めた。

実施日：10月21日（日） 参加外国人：4人 受入家庭：4家庭

2月23日（土） 参加外国人：6人 受入家庭：4家庭

##### ② 留学生にこここ家族

市内大学に通う留学生とホストファミリーとの半年、または1年にわたる交流を支援した。また、留学生やホストファミリー同士の交流を深める交流会やバスツアーを実施した。

##### \*対面式

春季 開催日：6月2日（土）・6月10日（日）

開催場所：北九州国際交流協会 交流スペース

参加者数：ホストファミリー28家庭（留学生：28人/7カ国）

秋季 開催日：10月20日（土）・21日（日）・27日（土）・28日（日）

11月4日（日）

開催場所：北九州国際交流協会 交流スペースほか

参加者数：ホストファミリー18家庭（留学生：23人/7カ国）

##### \*春の交流会

開催日：7月8日（日）

つまみ細工づくり

参加留学生数：6人

参加ホストファミリー数：11人

##### \*バスツアー交流会

開催日：11月23日（祝）

目的地：柳川船下り、柳川お花見学

参加学生数：16人

参加ホストファミリー数：15家族（22人）

#### (4) 留学生の地元定着に向けた助成

##### ア 日本語教室助成金

北九州市内に在住する留学生に対して日本語の学習機会を提供するため、

市内に住所を置き、定期的かつ継続的に、無償または低廉な料金により在住外国人に対する日本語教室を運営している団体に対し、運営資金として助成金を交付した。

助成金交付：12教室

交付額合計：560,000円（登録学習者数に応じ、年間3万円～5万円）

#### イ 多文化共生地域づくり助成金

北九州市内に活動の本拠地を置く国際交流または多文化共生を実施することを主たる目的とする団体が、留学生および地域住民が参加する、国際理解の促進や文化交流、防災支援等を目的として企画・運営する事業に対し助成金を交付した。

（年度ごとに1団体あたり1事業、対象経費の80%で限度額は原則20万円）

公募回数：1回 助成金交付：2団体

交付額合計：308,800円

#### ウ 市内就職者への奨励金

北九州市留学生支援ネットワークに加入している機関を卒業し、市内企業に就職する市内に住民登録を有する留学生に奨励金を交付した。（5万円、1回限り）

・市内企業就職者助成金交付：28人 交付額合計：1,400,000円

## 4 その他

### (1) 広報活動

#### ① 市政だより

北九州市が月2回発行する市公報「市政だより」に、協会が実施する事業やイベント情報等を掲載し、協会のPRに努めた。

掲載件数：49件

#### ② テレビ・ラジオ・新聞・情報誌による報道

テレビ・ラジオ・新聞等から事業に関する取材を受け広報を行った。

取材及び広報件数 テレビ：10件、ラジオ：4件、新聞：18件、  
合計：32件

#### ③ 「北九州国際交流協会だより」の発行

年2回、賛助会員に送付するとともに、協会内や公共施設に配架し、協会の事業をPRした。

**(2) 災害義援金等**

キーネットと連携して募金箱を設置し、日本赤十字社を通じて、現地での救護、復興活動を支援することとした。

**【インドネシア・スラウェシ島地震 災害救援金】**

設置期間：平成30年10月16日～平成30年11月29日 6,996円

平成 30 (2018) 年度

# 決 算 報 告 書

自 平成 30 年 4 月 1 日

至 平成 31 年 3 月 31 日

公益財団法人北九州国際交流協会

## 平成30年(2018)年度 貸借対照表

平成31(2019)年3月31日現在

公益財団法人北九州国際交流協会

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	8,232,053	8,096,941	135,112
未収金	1,496,059	1,526,428	△ 30,369
前払費用	45,000	136,080	△ 91,080
流動資産合計	9,773,112	9,759,449	13,663
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
投資有価証券	300,000,000	300,000,000	0
基本財産合計	300,000,000	300,000,000	0
(2) 特定資産			
留学生等支援資金積立資産	49,947,306	52,057,186	△ 2,109,880
特定資産合計	49,947,306	52,057,186	△ 2,109,880
(3) その他固定資産			
車両運搬具	2	11	△ 9
什器備品	235,663	423,340	△ 187,677
リサイクル預託金	8,830	8,830	0
投資有価証券	24,288,829	14,900,185	9,388,644
長期性預金	548,000	548,000	0
その他固定資産合計	25,081,324	15,880,366	9,200,958
固定資産合計	375,028,630	367,937,552	7,091,078
資産合計	384,801,742	377,697,001	7,104,741
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	2,417,728	3,081,565	△ 663,837
前受金	182,000	172,000	10,000
預り金	753,241	229,670	523,571
流動負債合計	3,352,969	3,483,235	△ 130,266
負債合計	3,352,969	3,483,235	△ 130,266
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
受取寄付金	149,947,306	152,057,186	△ 2,109,880
指定正味財産合計	149,947,306	152,057,186	△ 2,109,880
(うち基本財産への充当額)	( 100,000,000 )	( 100,000,000 )	( 0 )
(うち特定資産への充当額)	( 49,947,306 )	( 52,057,186 )	( △ 2,109,880 )
2. 一般正味財産	231,501,467	222,156,580	9,344,887
(うち基本財産への充当額)	( 200,000,000 )	( 200,000,000 )	( 0 )
(うち特定資産への充当額)	( 0 )	( 0 )	( 0 )
正味財産合計	381,448,773	374,213,766	7,235,007
負債及び正味財産合計	384,801,742	377,697,001	7,104,741

平成30(2018)年度 正味財産増減計算書

平成30(2018)年4月1日から平成31(2019)年3月31日まで

公益財団法人北九州国際交流協会

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	[ 2,308,244 ]	[ 2,308,244 ]	[ 0 ]
基本財産受取利息	2,308,244	2,308,244	0
特定資産運用益	[ 12,175 ]	[ 11,990 ]	[ 185 ]
特定資産受取利息	12,175	11,990	185
受取会費	[ 516,000 ]	[ 539,000 ]	[ △ 23,000 ]
受取賛助会費	516,000	539,000	△ 23,000
事業収益	[ 1,835,611 ]	[ 1,506,988 ]	[ 328,623 ]
コミュニティ通訳等派遣業務受託事業収益	779,544	720,316	59,228
外国人市民の防災支援受託事業収益	737,683	301,968	435,715
人材育成受託事業収益	318,384	484,704	△ 166,320
受取補助金等	[ 56,197,300 ]	[ 56,719,000 ]	[ △ 521,700 ]
受取北九州市補助金	53,018,000	56,489,000	△ 3,471,000
受取助成金	3,179,300	230,000	2,949,300
受取寄付金	[ 2,315,551 ]	[ 46,281 ]	[ 2,269,270 ]
受取寄付金	45,671	46,281	△ 610
受取寄付金振替額	2,269,880	0	2,269,880
雑収益	[ 685,694 ]	[ 972,457 ]	[ △ 286,763 ]
受取利息	193	270	△ 77
その他雑収益	685,501	972,187	△ 286,686
経常収益計	63,870,575	62,103,960	1,766,615
(2) 経常費用			
事業費	[ 60,967,439 ]	[ 68,948,775 ]	[ △ 7,981,336 ]
役員報酬	5,950,800	5,916,600	34,200
給料手当	23,691,729	33,868,108	△ 10,176,379
臨時雇賃金	6,179,433	7,468,186	△ 1,288,753
福利厚生費	6,834,485	8,433,424	△ 1,598,939
材料費	36,480	43,827	△ 7,347
奨学金	777,069	789,577	△ 12,508
留学生等支援助成金	2,268,800	0	2,268,800
旅費交通費	1,518,960	1,218,580	300,380
通信運搬費	667,634	753,949	△ 86,315
減価償却費	187,686	198,876	△ 11,190
消耗品費	756,198	487,594	268,604
車両費	254,364	384,545	△ 130,181
印刷製本費	481,973	232,130	249,843
光熱水料費	1,971,675	1,947,723	23,952
リース料	75,842	150,822	△ 74,980
使用料賃借料	3,571,069	3,651,593	△ 80,524
災害保険料	122,273	150,186	△ 27,913
報償費	2,441,240	1,624,844	816,396
租税公課	10,400	10,000	400
支払負担金	250,000	250,000	0
委託費	2,262,070	671,370	1,590,700
図書費	162,525	91,354	71,171
食糧費	129,300	351,535	△ 222,235
雑費	365,434	253,952	111,482
管理費	[ 3,059,649 ]	[ 3,410,386 ]	[ △ 350,737 ]
役員報酬	363,200	391,400	△ 28,200
給料手当	162,861	391,172	△ 228,311
福利厚生費	106,040	110,274	△ 4,234
会議費	2,996	2,816	180
旅費交通費	0	2,300	△ 2,300
通信運搬費	9,962	7,625	2,337
消耗品費	7,866	2,539	5,327
光熱水料費	100,977	97,087	3,890
リース料	3,991	7,938	△ 3,947
使用料賃借料	518,099	477,382	40,717
支払負担金	100,000	100,000	0
委託費	1,425,600	1,571,400	△ 145,800
交際費	25,049	34,169	△ 9,120
雑費	233,008	214,284	18,724
経常費用計	64,027,088	72,359,161	△ 8,332,073
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 156,513	△ 10,255,201	10,098,688
投資有価証券評価損益等	9,461,400	8,615,951	845,449
評価損益等計	9,461,400	8,615,951	845,449
当期経常増減額	9,304,887	△ 1,639,250	10,944,137
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
受取寄付金	[ 40,000 ]	[ 69,676 ]	[ △ 29,676 ]
受取寄付金振替額	40,000	69,676	△ 29,676
経常外収益計	40,000	69,676	△ 29,676
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	40,000	69,676	△ 29,676
当期一般正味財産増減額	9,344,887	△ 1,569,574	10,914,461
一般正味財産期首残高	222,156,580	223,726,154	△ 1,569,574
一般正味財産期末残高	231,501,467	222,156,580	9,344,887
II 指定正味財産増減の部			
受取寄付金	[ 200,000 ]	[ 0 ]	[ 200,000 ]
受取民間寄付金	200,000	0	200,000
一般正味財産への振替額	[ △ 2,309,880 ]	[ △ 69,676 ]	[ △ 2,240,204 ]
一般正味財産への振替額	△ 2,309,880	△ 69,676	△ 2,240,204
当期指定正味財産増減額	△ 2,109,880	△ 69,676	△ 2,040,204
指定正味財産期首残高	152,057,186	152,126,862	△ 69,676
指定正味財産期末残高	149,947,306	152,057,186	△ 2,109,880
III 正味財産期末残高	381,448,773	374,213,766	7,235,007